

令和6年7月16日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後2時00分
閉会 午後2時46分

2 出席委員

神 先 宏 彰	教育長
北 村 真 也	教育長職務代理者
末 永 礼 子	委 員
出 藏 裕 子	委 員
秋 山 伸 夫	委 員
松 浦 千 弘	委 員
野々村 誠 一	委 員

3 欠席委員

なし

4 出席事務局職員

森 岡 浩 之	教育部長
川 口 雅 彦	次長兼総括指導主事
松 野 文 彦	教育総務課長
今 西 恵 一	学校教育課長
黒 田 貴 子	学校教育課教育支援担当課長
宮 本 かおり	社会教育課人権教育担当課長
岩 崎 盛 雄	学校給食センター所長
小 川 博 久	図書館長
片 山 久仁彦	みらい教育リサーチセンター所長
山 内 久美子	みらい教育リサーチセンター副所長兼まなびプロモーション係長事務取扱兼まなびサポート係長事務取扱
榎 本 祐 輔	教育総務課総務係長

5 傍聴者

な し

6 議事の概要

(1) 開会

○教育長が開会を宣言。

(2) 前回会議録の承認

令和6年6月25日に開催した定例会の会議録を確認し、承認した。

(3) 教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

◎亀岡市関係

- ・ 亀岡市教育支援委員会総会を開催し、委嘱状交付を行った。
- ・ 令和6年度第1回亀岡市小・中・義務教育学校教務主任会議を開催し、講義を行った。
- ・ 5校が採用された令和5年度「魅力と特色ある学校づくり推進事業」に係る報告会を市長出席のもと詳徳小学校で開催した。令和6年度も制度を改正し、取り組む。
- ・ 第4回校園長会議を開催し、個人情報の取り扱いや災害関係など様々な角度から指示を行った。
- ・ 地域こん談会が河原林町・西つつじヶ丘を皮切りに始まった。
- ・ 畑野町の地域こん談会においては、学校跡地の今後の利用について質問をいただいた。
- ・ 第73回亀岡平和祭市民スポーツ大会総合開会式に参加した。
- ・ 教育委員協議会を開催し、リサーチセンターの今後について協議した。
- ・ 千歳町・亀岡地区中部の地域こん談会に出席し、学校の高木伐採に関する質問を受けた。
- ・ 第74回「社会を明るくする運動」市民中央集会在ガレリアかめおかにおいて開催され、来賓として出席した。

(4) 報告事項

- ①市町村教育委員会研究協議会について
- ②令和7年度小規模特認校児童募集について
- ③令和7年度亀岡市はたちの会 実行委員会について

○各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

<市町村教育委員会研究協議会について>

教 育 総 務 課 長 6月27日に第1回の研究協議会がオンラインで開催され、秋山委員にご参加いただいた。他の委員への情報共有のため、当日の様子等、お話をいただきたい。

秋 山 委 員 部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行という分科会に参加した。

全国の市町村の教育委員とグループ（1グループ7団体程度）を組んでディスカッションした。

地域により進み具合が異なり、かなり進んでいるところ

ろがある一方、全く進んでいないところもある。
私のグループで一番進んでいたのが、福井県の越前市である。
ここは、令和4年に取り組むということを決め、令和5年にはソフトテニス、剣道及び美術をモデル事業として着手された。
そして、令和6年からは、柔道、合唱、サッカー、バスケ、バレー、卓球、バトミントン、陸上及び野球と大きく広げて取り組んでおられる。
取り組んでいる内容は、地域のクラブに委託し、各学校の部員が集合して一緒に練習しており、子供たちの評価は非常に高い。
理由としては、専門的なコーチングをレベルに応じて受けられること、各クラブの人数が減少している状況において他の学校の生徒と一緒に活動できることが挙げられる。
指導者の内訳としては、半分は教員で、他は地域の指導者、民間の指導者である。
課題は、活動場所までそれぞれ距離があるため、保護者頼りの送迎である。
越前市の教育長によると、組織運営については、教育委員会に総括コーディネーターを設置。
競技毎にもコーディネーターを設置し、2ヶ月に1度協議を行い、総合的に教育委員会でコーディネートしており、今のところ良い状況であるということであった。
グループ内の他の市町村に関しては、課題がある。
まず、指導者不足。
また沖縄のとある市においては、経済的に苦しい家庭が多く、民間クラブへ任せても送迎や謝金の部分でハードルが高く、難しいということであった。
今後のクラブ活動は、地域格差が出てくるだろうと感じている。

<令和7年度小規模特認校児童募集について>

北村職務代理者 委員になって7年目であるが、小規模特認校については、何回もテーマに上がっていた。
児童数がどのように変化するのかを検証して、制度を維持するか判断することになっていたと思うが、結論としてどのようなになったのか。

これからも続けていくことが前提となっているのか教えていただきたい。

学 校 教 育 課 長 ご質問いただいたようにずっと継続する制度ではないと事務局も認識している。

昨年度の点検評価においても効果を検証して、この制度のあり方について検討することの必要性をご指摘いただいている。

現状においては、複式学級の解消を目的の一つとして取り組んでおり、東別院と西別院小学校については、複式学級がある。

また、保津小学校については、現在は解消している。

今後、効果の検証や人口統計等も含めて委員の皆さんで議論いただく機会を設ける必要があると考えている。

北 村 職 務 代 理 者 明確な記憶ではないが、委員会の中で何回か検証したのではないかと。

末 永 委 員 末永委員いかがでしょうか、何回か検証したと思うが、その結果どうなりましたか。

末 永 委 員 はい、何度か検証をしたと記憶している。

未来永劫この制度を続けていくのかという話をしていたところ。

何年か前までは、各校毎に募集要項等を作成して、説明会を含め個別に対応していた。

それを市で募集要項等をまとめて、一昨年ぐらいから3校同時にやろうということになった。

それが功を奏したか、分析まではできていないためわからないが、応募が増えた。

保津小学校で始まったときは、単独で行っていたが、次の年ぐらいに3校合同にしたところ応募が増えたので、ニーズとしてはあった。

各校が個別に取り組むのではなく、市として取り組んでいる姿が見えたということもあり、応募が増えたので、もう少し様子をみようという形になったのではないかと記憶している。

教 育 長 この制度ができて3年たった時に、検証しないのかという話になった。

経過としては、先程あったように各学校個別に取り組んでいた。東別院小学校の人数が増えていったが、西別院小学校はなかなか増えなかった。そこでバラバラに行っていた募集要項等をおしゃれな形の1枚ものにし

て取り組んできた結果、昨年度から保津小学校の人数が増え複式学級が解消されるなど、良い方向に向かっていることも実際のところである。

しかしながら、地元出身の児童がどんどん減っていくというのも実情である。

また、これまでにこれを議題とした正式な検証の場は無かった。

先程、学校教育課長が説明したように、現状を踏まえ、今後どのようにしていくかを検証していく時期であると考えている。

複式学級が解消できるような状況もあり、悪い方向には向いていないが、課題はある。

西部地域においても解消されたわけではなく、3小学校が集まっても1クラス当たり20人そこその規模である。

先行きが心配な状況に変わりはなく、検証の機会を設けていきたいので、よろしくお願いします。

(5) その他

○亀岡市都市計画審議会の委員選出について（教育総務課）

秋山委員の2年間の任期満了に伴い、改めて委員推薦の依頼があった

教育委員会では、この会議の委員を教育委員から推薦しており、今回も同様に選出をお願いするもの。

教育長から引き続き秋山委員の推薦があり、委員会で承認した。

○NP0 法人オノ木との包括的連携協定について（教育総務課）

5月21日開催の教育委員協議会において、NP0 法人オノ木と木育に関する連携協定について協議いただいた。

協議会で示した協定案により、オノ木との調整が終了したので、協定締結に向けた事務手続きを進める。

7月31日水曜日の午前10時から協定締結式を開催する予定である。

○次回の教育委員会について案内

日時：8月20日（火）14時から

場所：800会議室

(6) 閉会

○教育長が閉会を宣言

以 上

○教育長職務代理者

○委 員

○委 員

○委 員

○委 員

○委 員

○教 育 長

(調整者 教育総務課長)